

自家製だから、
季節の果実酒、
旬のおいしさ、
できました。

トル・スター・レストランでは、自家製の梅酒三種類を定期でご用意しています。これは毎年六月、青梅の季節にスタッフ総出で仕込む、こだわりの果実酒です。

そしてさらに季節ごとに、旬の果実を漬け込んで期間限定の自家製果実酒をお作りしています。今年は一月には山桜酒、二月には花梨酒や金柑酒が登場する予定です。

昨年は大人気で売り切れ続出だった限定果実酒も、今年はいつも季節ごとの味が楽しめるよう、三月にはいちご酒やストロベリーワイン、オレンジ酒やレモン酒など、続々と季節のおいしさを果実酒にしてお届けする予定です。ご期待あれ！（麻）

日本各地にはそれぞれ土地の「名物」「名産品」がありますが、人へのお土産に便利なのは、やっぱり菓子類でしょう。東京で言えば「雷おこし」か「人形焼き」か…最近は「東京ばなな」でしょ

うか…お正月は相方の実家・山口へ一緒に帰省しました。山口の土産菓子といはる元では「ういろう」ですが、これは名古屋の方が有名です。山口に全国区で名高い土産菓子は残念ながら見当たりませんでした

▼修学旅行で訪れた京都では「生八つ橋」のおいしさに感動しました。清水寺に続く清水坂に軒を連ねる生八つ橋店の試食品を片端から食べて行き、自分なりに一番おい

しいと思ったお店でお土産を購入しました

▼小さい頃にもらった一番のお気に入りの

お土産は、北海道の「白い恋人」でした。北

海道はバターサンドやホワイトチョコ

レートなど土産菓子の宝庫。けれど幼いと

きの感動が生きていて、未だに「白い恋人」

が一番好きです▼カステラと言えば光明堂

だった中学生の私に、意識革命を起こした

福砂屋のカステラは、長崎のお土産の定番。

しつどりした生地、底面についたザラメ。

長崎出張が多い父の得意のお土産です▼

末年始の休暇が明けて、スタッフそれぞれ

がお土産を配り、土産話に花を咲かせつ

お菓子をパクリ、楽しいひととき。その上

お客様からもお土産やお年賀をいただきま

した。ありがとうございます。当分は樂

新聞ごはん

第20号

2006年1月

発行者

リトル・スター・レストラン

インターネット無線スポット



あります。

「毎月新聞ごはん」は、リトル・スター・レストランが発行している新聞です。



Little Star Restaurant

リトル・スター・レストラン

tel:0422-45-3331

www.little-star.ws

十年

やねい前のじゅうです。私は友達と卒業旅行と称して館山に行きました。

車の免許を持っていたとはいえ、まだ他人を乗せて遠出するのは不安だったので、電車とバスを使いました。バスの窓からは、道路沿いに黄色い菜の花が咲いているのが見えました。

宿に着くと明るいうちに、付設するコートでテニスをしました。この宿は、雑誌で見つけたのですが、ここに決めた理由の一つは、テニスコートが使えるからでした。私は、ペンションといふものに泊まつたことがなかったので、泊まってみたかったというのもあります。そしてもう一つ。このオーナーはシェフをしていた経験があって、食事がおいしいということからで

旅の うま うま。

その8
白ワイン



ヒトリの花で飾られる館山

した。

さて、夕食。出てきたフランス料理は、予想通りおいしく、満足しました。でも、それ以上に印象に残ったのが、ワインでした。おいしいワインがあるんですね、いかがですか。そうオーナーに勧められて、せっかくだから頼むことにしました。

運ばれてきたのは、ドイツの白ワインで、すらりとした美しいボトルでした。フルーティな香りと、甘い味。すごくおいしくて、それ以来、ドイツワインを好きになりました。その後、赤ワインなど他のものも好きになるのですが、今思えば、私がワインを好きになったきっかけとなったのが、このときでした。(圭)

LSR Collection リトル・スター

ああ、麗しのチーズケーキ
vol.08



チ

ーズケーキといえども、世の中には星の数ほどのチーズケーキあり。しかしリトル・スター・レストランでは、これを主道とも言いくべき、シンプルなベイクドチーズケーキをご用意しています。クリームチーズをあえて混ぜすぎずに、しっかりととした「当たり」に。濃厚のチーズの味、コクのあるおいしさは、コーヒーや紅茶はもちろん、ワインにもよく合います。一度食べたら病みつきに?!

句なあ話



合もありますが、思いも伝えます。私は電話も苦手なのでよく友達に手紙を書きます。相手はどう思うだろう、返事を書かなくてはならないな、面倒だなどと思うかもしれない。そんなふうに思ったこともあります。

た。でも、自分が友達から手紙を受け取ったときに、すぐくうれしかったのです。とかく、大丈夫と思はました。

The image shows the front cover of a book. The title '山口一暉の優雅な生活' (The elegant life of Ichirō Kōmatsu) is written in black Japanese characters at the top. Below the title is a black and white photograph of a man, identified as Ichirō Kōmatsu, standing outdoors. He is wearing a dark suit and a light-colored shirt. The background of the photo shows a building with large windows and a balcony. The overall design is classic and monochromatic.

miyazaki's choice



『白鳥の王子ヤマトタケル[大和の巻]』

華やかな暖かいの中で食する幸せもあれば、静けさの中でジワリとかみしめる幸せもある。いや、そもそも幸せは、何気ない日常の一場面で感じる方が、しみじみと味わい深いものだと思う。家族という身近で、ありがたく、時に煩わしい人たちに思いを馳せ、自分なりの幸せを見つけるには、音さえ凍る、静かな雪の降る日がふさわしい。

自分だけ知つてゐる。ありのままの人生を味わいたい、永井するみは私にとってそういう作家だ。氏の描くヒロインがかなり好きだ。よくも悪くも自分でケリをつけた。「自分の人生でしよう?」と声に出さずに行動で示すのだ。「だって天使などいないんだから」と。雪の日に暖かな部屋で読む。そんつとする程切れ味の鋭いミステリ短編集なのです。

深澤圭子
keiko fukazawa
宮崎麻美
asami miyazaki
碑島ゆか
yuko heshima

深澤千子
keiko fukazawa

★今月のお題★

判官ひいきといふ言葉があるように、日本人は源義経が好きである。そして、ヤマトタケルという人物も好きである。彼らの共通点は、不本意にも追われてしまふこと。父や兄に近寄ろうとすればするほど理解されず、疎まれる。その能力や人望故に。彼らはどこか悲しい。ヤマトタケルは死して、白鳥となり、大空高く飛んでいった。自由をつかむために。

年賀状というと、義務みたいなもので、出すのが面倒だという人もいます。確かに仕事関係などはそうかもしれません。でも私は年賀状を書くのが好きです。もともと話が苦手なせいで、手紙を書くことが好きだからでしょう。相手のことを思い出しながら書いていくのは、時間のかかる作業ですが、楽しいものです。文面は必ず、手書きにします。枚数が少ないせいもありますが、そのほうが伝わると思うのです。自分がもらつたらうれしいなと思うのです。手紙は、言葉を伝えます。単なる情報の掲

くれて、私は気がつきました。ほんのさわ
いなことで、お客様がうれしかったという
ことに。逆に私は、そのことを伝えられ
てありがとうございました。本当にうれしかった。
これからも、言葉で伝えていきたい、声に
出して、あるいは、文章で。今年は、そん
な思いから始まりました。(圭)

深澤圭子
keiko fukuzawa
宮崎麻美
asami miyazaki
稗島ゆづる
yuko hisematsu

永井するみ

hieshima's choice

『天使などいない』

永井 するみ 光文社文庫

雪の降る夜に読みたい本



2月19日(日) / 20日(月)

■2月の連休のお知らせ。

月に一度ほど連休をいただいておりますが、1月は年始年末休業をいただいたこともあって、定休日以外のお休みはありません。2月は次の日程で連休をいただくことにしております。よろしくお願いいたします。

■今年もよろしくお願ひいたします。

お店の営業はすでに10日から始まっておりますが、この小さな毎月新聞「ごはん」も運ばせながら新春号。お店共々、今年もみなさんのご愛顧・ご愛読よろしくお願いいたします。



■中澤恒夫展、開催中です。

当店の户外看板や店内の棚受けなど、鉄を使った作品を作り続ける鍛冶屋・中澤恒夫さんの作品展、好評開催中です。今回は、彼が製作に使う道具などを通して彼の仕事「鍛冶」そのものも理解していただけではなく、販売も致しております。

ぜひ表情豊かであったかみのある鉄の作品をお楽しみください。



「毎月新聞 ごはん」、 置いていただけてます。

南口中央通りの「古書上々堂」さん、さくら通りの「三鷹の森書店」さん、吉祥寺通り、三鷹の森ジブリ美術館向かいの天然酵母のパン屋さん「コミュニティ・ベーカリー 風のすみか」さんにこの小さな新聞を置いていただいています。

ありがとうございます。



年末は僕らがお店を貸し切って忘年会。いつもアタマに手ぬぐい、白いシャツのスタッフですが、ええ、こんなかんじだったりします…小さすぎてわかりにくいのは、ご愛敬(笑)。(お)



Little Star Restaurant
リトルスター・レストラン/Mitaka,Tokyo

東京都三鷹市下連雀 3-33-6 三京ユニオンビル 3F
Tel+Fax 0422-45-3331 e-mail info@little-star.ws

●定休日：毎週月曜日

PCでも携帯でも▶▶▶▶▶ <http://www.little-star.ws/>

至 武蔵境 JR 三鷹駅 至 吉祥寺



●営業時間：11:30 ~ 24:00

(土日・祝祭日は12:00 開店/日祝祭日 23:00 閉店)

フード・ラストオーダー 23:00 (日祝祭日 22:00)

ドリンク・ラストオーダー 23:30 (日祝祭日 22:30)

